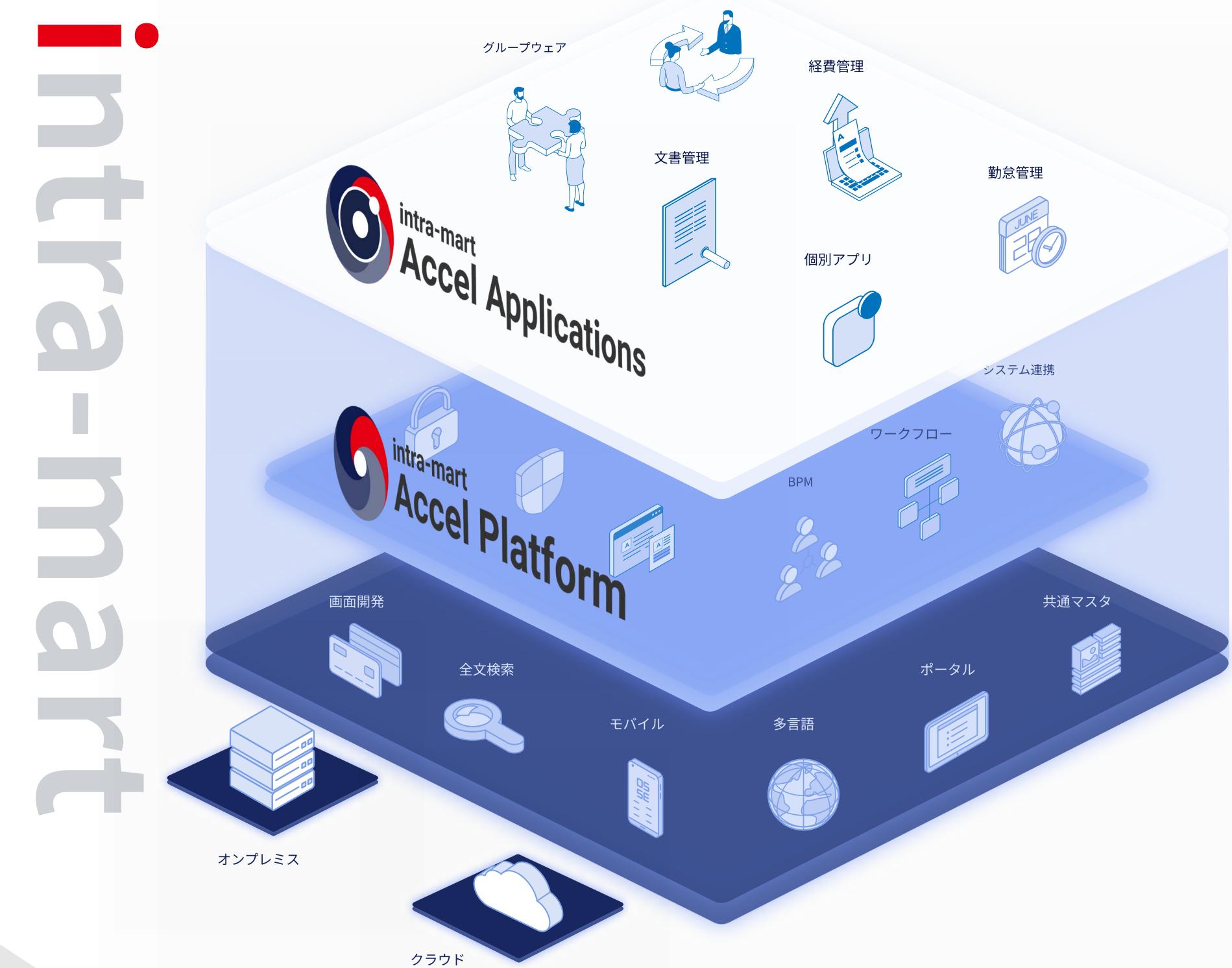


3分でわかる！

intra-mart®

デジタル業務改革を実現する
エンタープライズ・ローコードプラットフォーム

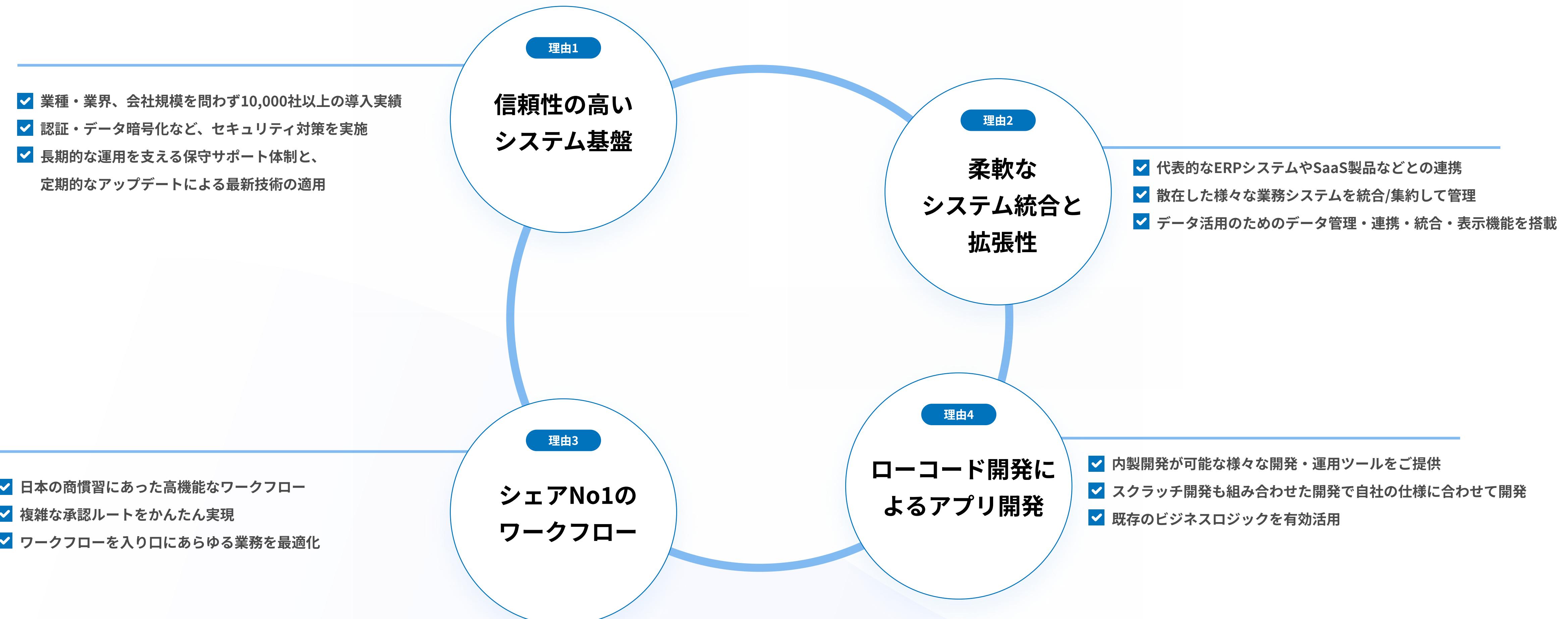


intra-martとは？

企業独自の価値をデジタル技術で素早く向上させ
ビジネスモデルの変革を推進



intra-martが選ばれる理由



業種・業界、会社規模を問わず様々な企業様に導入



紙の量を7割削減し、
作業工数を年間約8,400時間削減

全日本空輸株式会社 様



ビジネス部門とシステム部門の協創
関係社員の約90%が業務負荷軽減を実感

SOMPOホールディングス株式会社様



開発生産性のさらなる向上と他システムとの
連携強化

東洋鋼鉄株式会社 様



ハイパーオートメーションの基盤を構築
ひっ迫する業務を効率化

三菱UFJニコス株式会社 様



プロジェクト管理とシステム開発双方の
知見から業務プロセスを可視化し、属人化を解消

帝人エンジニアリング株式会社様



紙文書ゼロを実現
開発工数5ヶ月、開発投資1億円の縮減に成功

兼松株式会社 様

intra-martが解決する主な課題

業務プロセスの非効率性

業務の自動化で効率化

システムが連携できない

業務に合わせたシステム連携

IT部門の負担

ローコード開発で負担軽減

情報共有の遅延

リアルタイムで情報共有

紙とハンコの文化

申請・承認をワークフローでデジタル化

導入の時間とコストの増加

迅速で低コストな導入

業務アプリの管理

アプリケーションを一元管理

既存システムの老朽化

最新技術でシステム更新

部門間の連携不足

統合システムで部門間の協力促進

システムのスケーラビリティ

必要に応じてスケールアップ可能

ビジネス変化への対応遅れ

柔軟なシステムで迅速な対応

セキュリティ管理

高度なセキュリティ機能

ポイント1

変化にすばやく対応、 ローコード開発

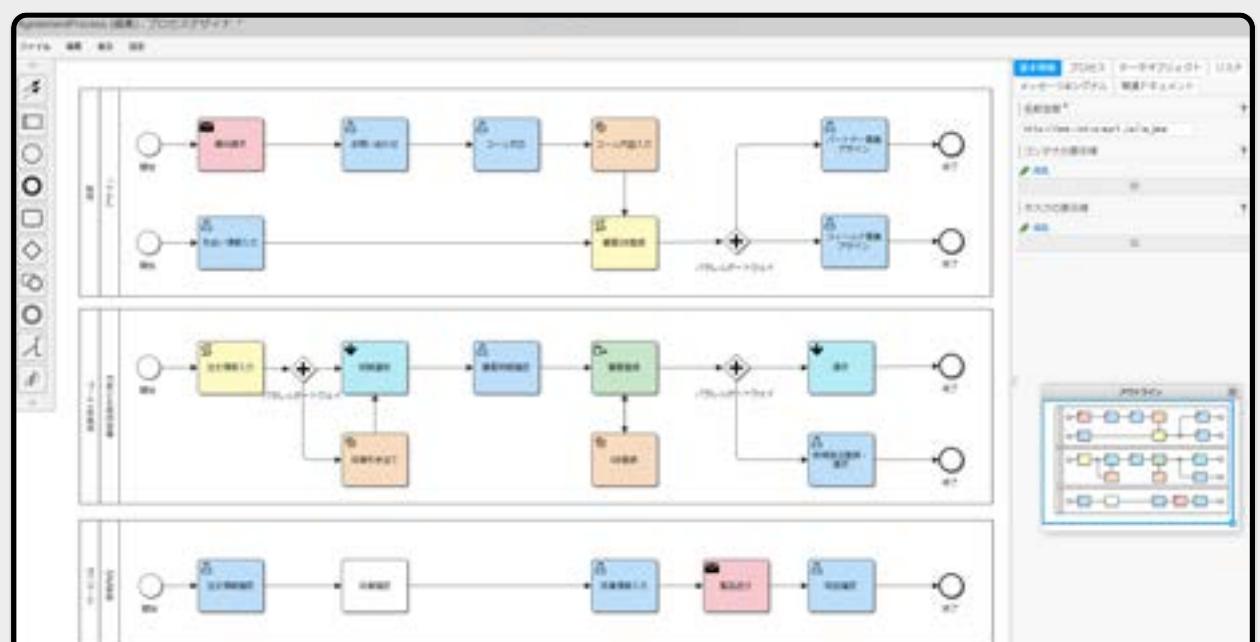
ローコード開発・アジャイルによるアプリケーション構築で、圧倒的な開發生産性を実現します。誰でも作れる、変えられる、運用できる高い業務生産性を実現し、業務変化に柔軟に対応することができます。



ポイント2

業務を見直して最適化する、 業務プロセス改善

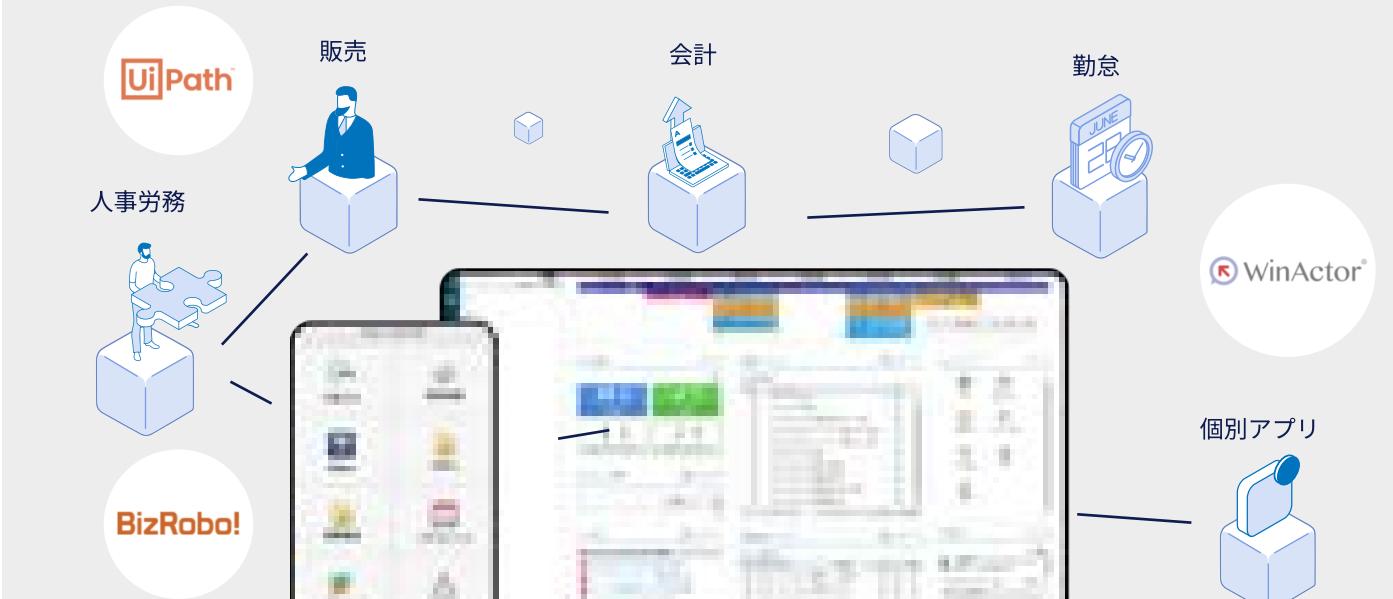
従来の業務プロセスをるべき姿に見直し、PDCAサイクルを回しながらデジタル業務改革を進展。生産性を大きく向上させます。



ポイント3

バラバラな業務を効率化する、 システム共通基盤

バラバラな業務システムを一つのシステム基盤上に集約することで、部署間連携やグループ企業での共同利用も可能です。さらに、既存システムや外部クラウドとシームレスに接続できます。

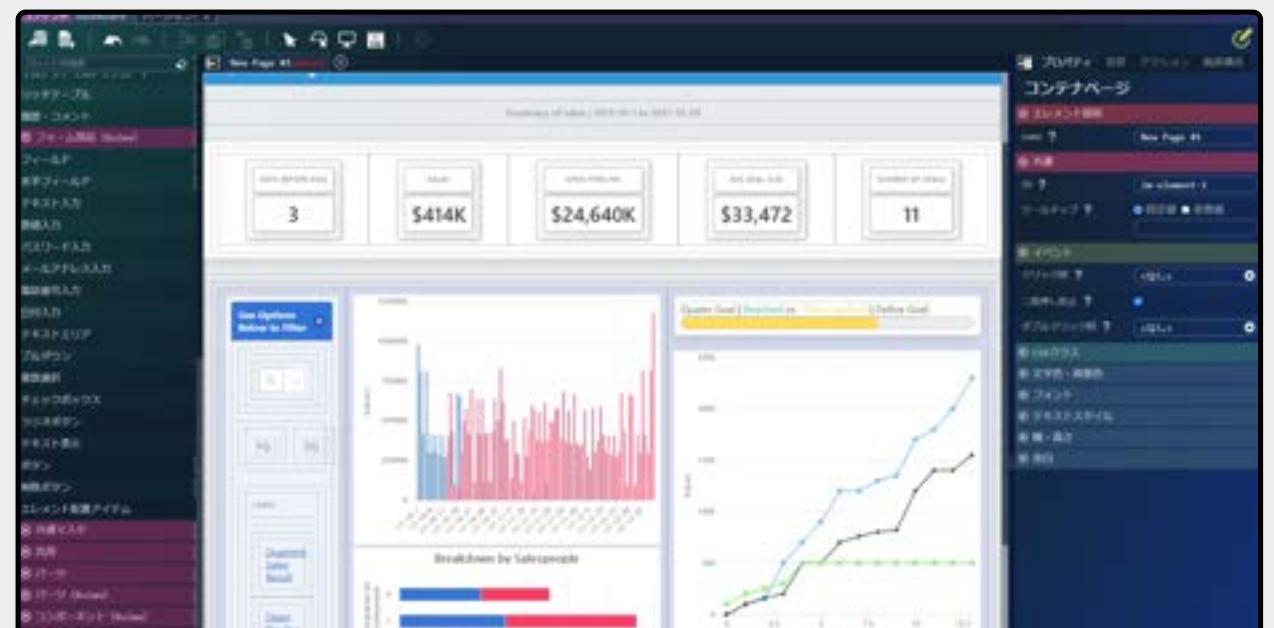


内製開発が可能なローコード開発ツール

ポイント1

Webブラウザ上で、 簡単に画面作成

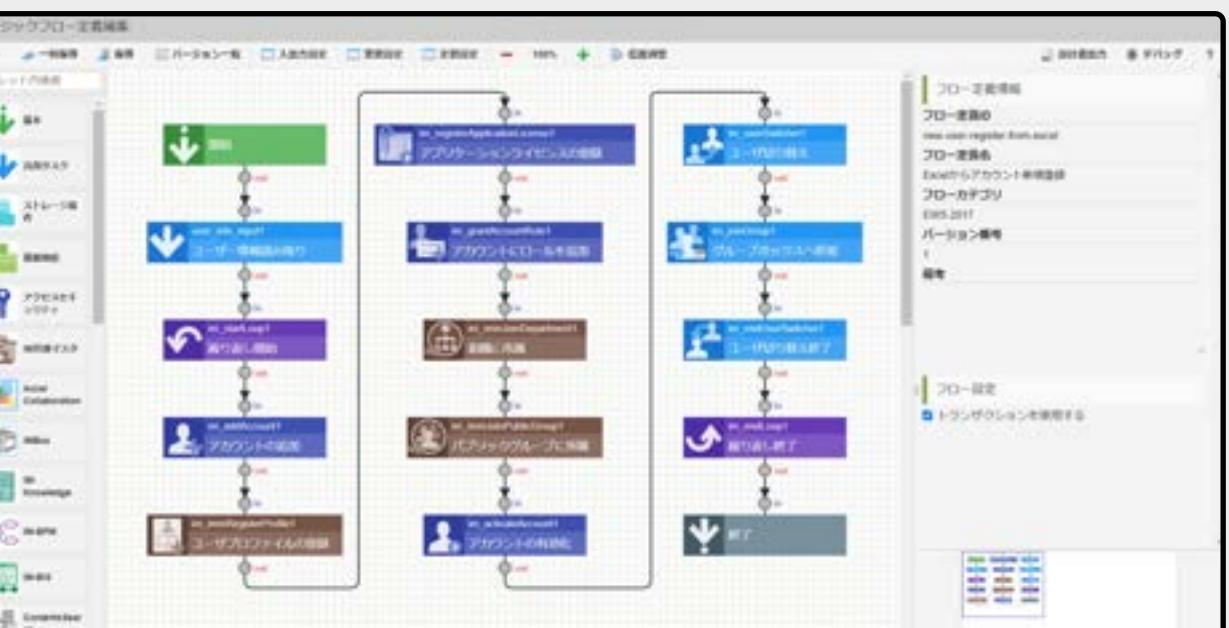
簡易なフォーム画面から複雑な業務画面まで、ドラッグ＆ドロップなどの操作で簡単に作成することができます。作成した画面は、PCやスマートフォンなど様々なデバイスで実行可能です。



ポイント2

ノンコーディングで 業務ロジックを作成

プログラミングの知識がない方でも、様々な業務処理の部品をドラッグ＆ドロップで配置し線でつなげるだけで、業務ロジックを作成することができます。今までコーディングが必要だった処理ロジックもコーディング不要になり、開發生産性の向上が期待できます。



ポイント3

ExcelのようなUIを実現する スプレッドシート機能

Webブラウザ上でスプレッドシートを利用できるローコード開発機能の一つです。スプレッドシートの作成や編集を画面上で簡単に行うことができます。ワークフローに埋め込み、システム入力とExcel入力の2重入力を軽減するなど、様々な活用ができます。

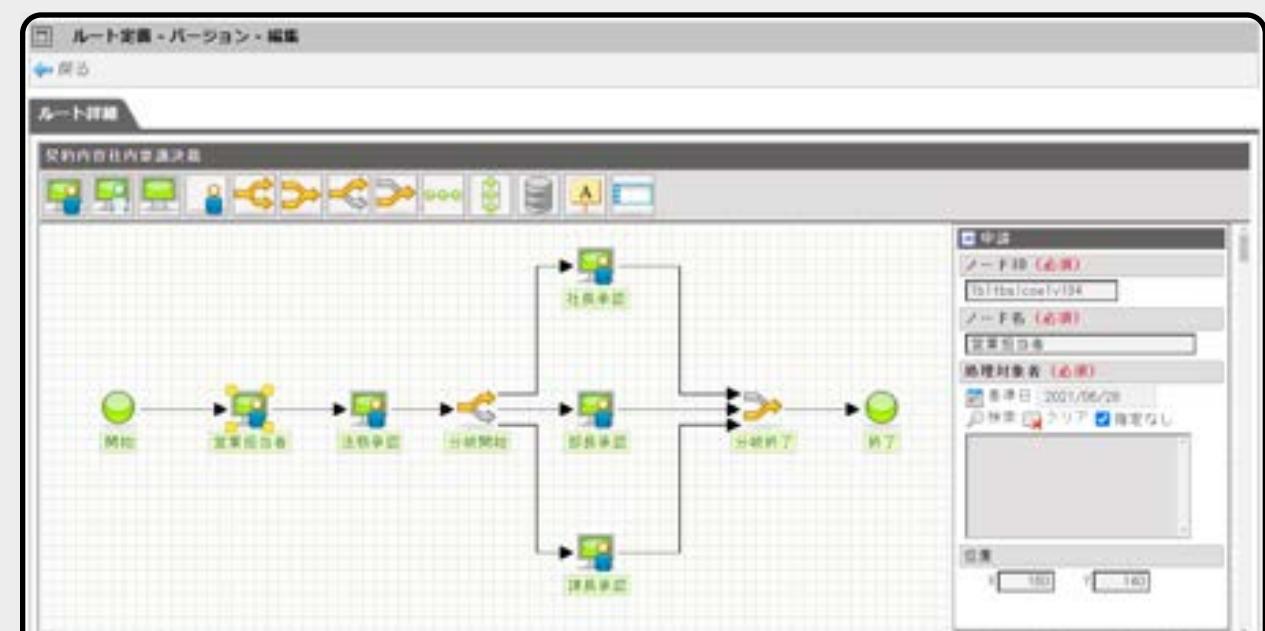


バラバラな業務を効率化する、システム共通基盤

ポイント1

業務プロセスの自動化に貢献、ワークフロー

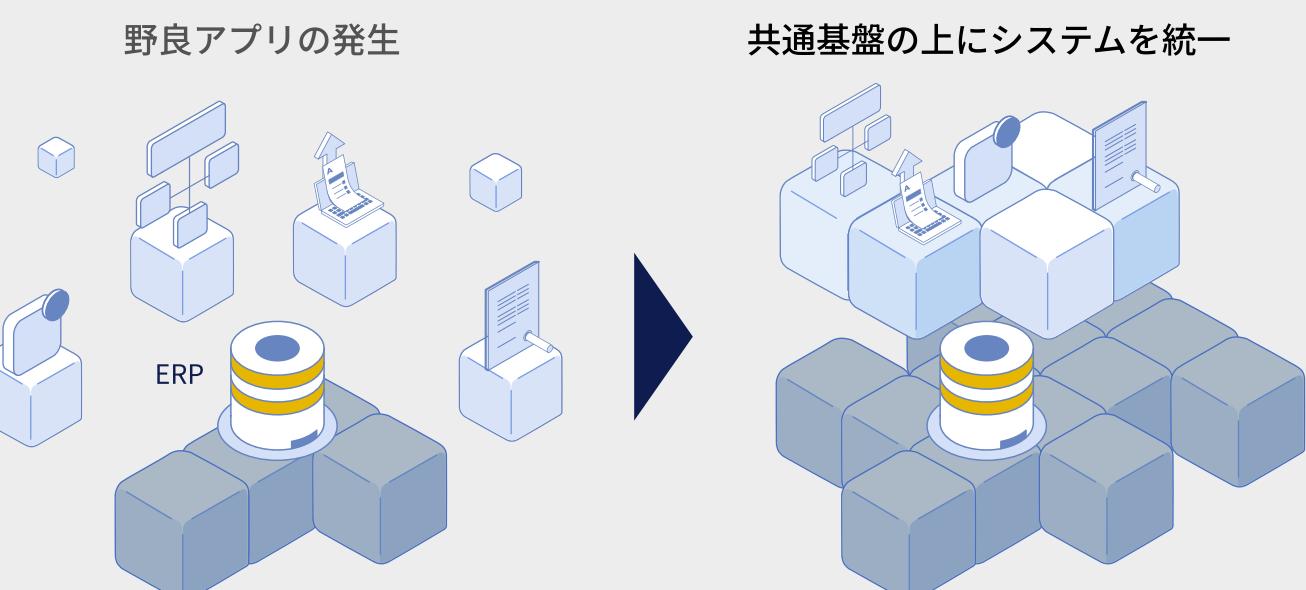
各種申請や稟議をはじめ、組織内で行われているあらゆる業務手続きを電子化し、業務手続きにまつわる課題を解消します。ワークフローを入口にペーパーレス化のその先にある、業務プロセスの自動化に貢献します。



ポイント2

システム共通基盤によるガバナンス

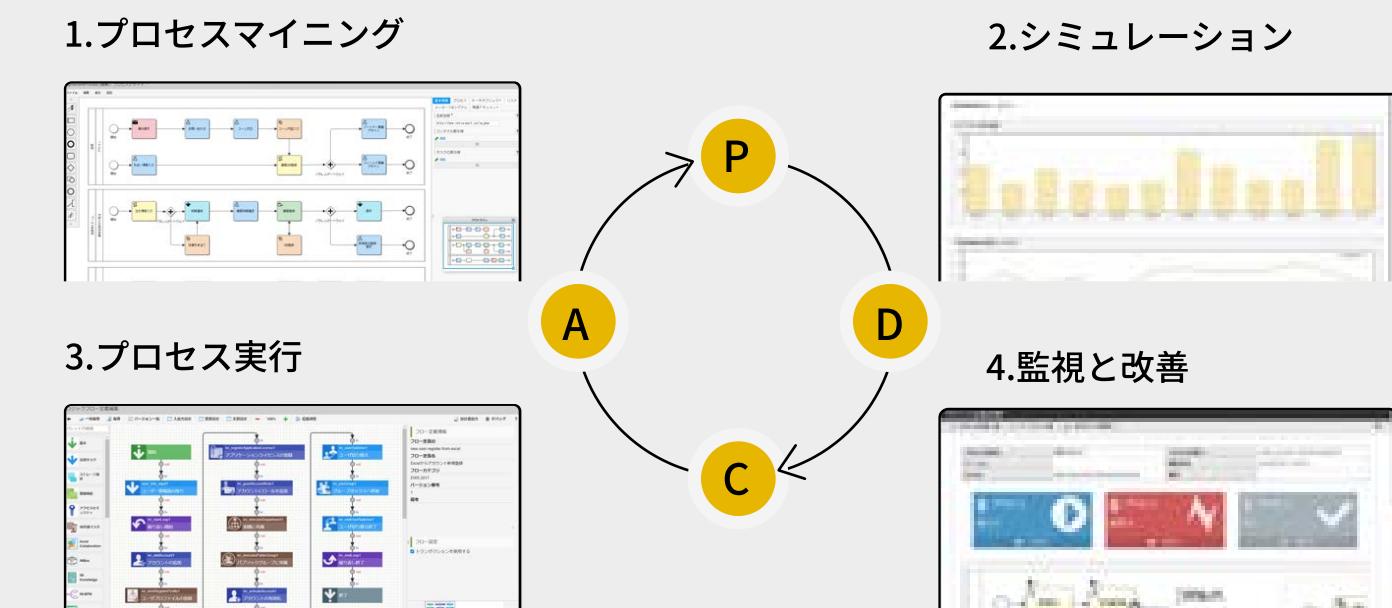
企業内に存在する業務システムを一つのプラットフォーム上に集約することで、IT投資の効率化と業務の標準化を実現します。また、PaaS基盤としてグループ企業内での共同利用も可能です。



ポイント3

継続的な、業務プロセス改善

システム運用後に生じた変更も、運用を止めることなくWebブラウザ上で設定変更してリリースすることができます。intra-martが持つ様々な業務コンポーネント群と連携できるため、必要なアプリケーションも自由にカスタマイズ可能です。



導入事例



大日本除虫菊株式会社様

ローコード開発プラットフォームとして
「intra-mart®」が業務のハブとなり、
紙業務のデジタル化を実現

導入のポイント

- ✓ 開発リソースが足りないという課題を解決
- ✓ 開発の構築時間の短縮に成功
- ✓ コミュニケーションツールなどシステム同士をつなぐことを可能に

導入前の課題

「約30年間稼働する汎用機では複雑なシステムの構築が困難になり、リソース不足と工数増の見直しがスタート」

大日本除虫菊株式会社様が使用しているシステムは、昔ながらのかなり古いものであった。しかし、汎用機を活かしたシステム化の調査には時間が必要。更には一画面に文字数の制約があり、システム構築は非効率な状況。このため、限られたリソースで対応するためにローコード開発プラットフォームを導入したいという思いが強まる。

導入後の効果

「構築期間を大幅に短縮。1年5ヶ月で計230本ものシステムを構築」

1年5ヶ月の間でintra-martを活用して構築したシステムは、種類だけでも30。総数はオンプレミス環境で160本、クラウド上で70本以上にも及ぶという。しかも、開発課の3名のみで構築を行った。また、汎用機と生産管理システムや販売管理システム、経理システム、さらにはチャットなどのコミュニケーションツールまで、システム同士をつなぐことも可能に。



SOMPOホールディングス株式会社様

ビジネス部門とシステム部門の
協創・アジャイル開発で関係社員の約90%が
業務負荷軽減を実感

導入のポイント

- ✓ ビジネス部門とシステム部門が協創するアジャイル型開発スタイルへの変革
- ✓ 上記に基づくビジネス部門の内製化の推進
- ✓ グループ会社全体で利用する共通プラットフォームの構築

導入前の課題

ウォーターフォールの開発手法では、激変するビジネススピードへの追隨が困難

25年以上使い続けていたグループウェア「Notes」の老朽化に加えて、時代とともにビジネス部門の要求とシステム部門の対応にギャップが生じるようになった。また、長年にわたるウォーターフォールを中心とした開発手法、外部の開発パートナーに委託するスタイルでは、多様化するビジネスニーズ、進化するデジタル技術への迅速な対応が、次第に困難となってきていた。そこで、2018年秋頃からNotes移行の検討を始め、2019年3月に業務刷新プロジェクトを本格始動。1,000DB以上にも膨れ上がったワークフローを含む業務アプリケーション（ビジネスコア領域）の移行について大きな課題が残っていた。

導入後の効果

開発に関わったビジネス部門社員の約90%が負荷軽減、約80%が品質向上を実感
現場との協創で内製開発のモチベーション醸成に成功

ローコード開発した業務アプリケーションについてユーザーであるビジネス部門に導入後のアンケート調査を実施したところ、「90%以上の社員が業務負荷軽減、80%以上の社員が業務品質向上を実感している」と回答した。この結果は、従来のシステム導入効果よりも優れたものであり、実際の業務改革や業務のデジタル化に大きく寄与した。

intra-mart 製品・サービス

お客様のイノベーションと事業成長に
貢献するソリューションを提供



全体最適を実現する、業務システムの開発から運用までを支援するエンターライズ・ローコードプラットフォーム



企業の利用規模・用途に合わせて利用可能な、intra-mart開発・運用環境を提供するクラウドサービス



包括的なDX業務改革をトータルサポートするDX成功の実践メソッド



ローコード基盤上で動作する、営業支援システム、経理業務向けのアプリケーションシリーズを展開



ERPと連携した外部拡張アプリケーション開発をintra-mart上で実現可能なソリューションをご提供



intra-mart Accel Platformに対応した70以上の最新ソリューション



イントラマートが運営するコミュニティ。メンバーと自由に意見交換が可能



DXをユーザー同士で学びあうコミュニティ（イントラマート社のユーザー会）



intra-martの開発方法について学ぶ、e-learningや公式に証明する認定資格制度

intra-mart®

東京本社

東京都港区赤坂四丁目15番1号 赤坂ガーデンシティ5階

TEL : 03-5549-2821

<https://www.intra-mart.jp/>

- 掲載内容は2025年1月現在のものです。
- intra-martは株式会社NTTデータイントラマートの登録商標です。
- その他の各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です。